

## 特定非営利活動法人 谷戸山倶楽部 設立趣旨書

### 1 趣 旨

静岡県小山町の明倫地区は、富士山の清らかな湧水が流れ、豊かな自然環境に囲まれた地域です。この地域には、湧水を活かした田畑が広がり、地域住民に愛される谷戸山という象徴的な里山の存在があります。この環境は、「育てたい、暮らしたい、帰りたいまち 小山町」を体現する場でもあります。

一方で、全国的に進行する人口減少・少子高齢化の影響は、明倫地区を含む小山町にも及び、里山の管理不全、放置竹林、耕作放棄地が増加といった課題が顕在化しています。この結果、日本のふるさとの象徴とも言うべき里山文化やコミュニティのつながりが失われつつあります。

こうした課題に対応するため、地域住民で構成される「明倫地域まちづくり推進協議会」は、谷戸山ハイクやホテル鑑賞会を通じた環境・文化体験、耕作放棄地の有効活用、こども園や小学校と連携したイベントの実施など、地域文化の継承と住民間の交流を促進する取組みを進めてきました。これらの活動を通じ多世代が集い、交流できる地域づくりが少しずつ形になっています。

この活動をさらに発展させるため、小山町では、「支えあい、ふれあい、健康で安心して子育て・子育てができる金太郎の郷」の拠点とし、すがぬまこども園に隣接する大正13年建築の古民家をリノベーションし、多世代交流拠点「谷戸山のいえ」を開設する計画を立てています。

そこで、地域の有志が協力して新たに特定非営利活動法人を設立し、小山町から古民家「谷戸山のいえ」を借用し、さらに多様な市民が関わることができる交流拠点として活用します。この拠点を基盤に、ホテルが飛び交う里山などの自然環境保全再生事業やその魅力を広く発信する事業を推進し、市民を対象とした体験活動や地域文化振興事業を展開します。これにより貴重な里山資源を次世代に継承し、まちづくり、環境保全、地域福祉、子育て支援、多世代交流の促進に貢献していきます。

また、任意団体としての活動では資金調達や行政との連携に限界があり、特定非営利活動法人として社会的信頼性を高め、持続可能な事業基盤を築くことで、市民・企業・行政など多様な主体との協働を深めていきます。

これらの目的を達成するために「谷戸山倶楽部」を設立します。

### 2 申請に至るまでの経過

令和6年 9月 特定非営利活動法人化のための勉強会開催

令和6年12月 発起人会開催

令和7年 1月 設立総会開催

令和7年1月26日

特定非営利活動法人 谷戸山倶楽部  
設立代表者 氏 名 湯山 和行